

大麻「ダメ。ゼッタイ。」緊急アピール
～薬物乱用のない「クリーンな神奈川」の実現を～

大麻を乱用する若者が増えています。最近、県内でも、昨年、今年と2年連続で大学生が大麻の売買などで逮捕されたという事件が発生しました。

県内においては、平成19年中の大麻事犯の検挙者は、30歳未満の若者が148人で全体の約75%を占めています。

明日の社会を担うべき若者がこのような事態にあることを、深刻に受け止め、神奈川県内に大麻がこれ以上広がることを絶対に防がなければなりません。

そこで、安全で安心して暮らせる神奈川を守るために、知事として県民の皆さんへ、大麻の乱用の防止を訴える緊急アピールを行うこととしました。

大学生・若者の皆さんへ

○大麻の乱用は、心や体をぼろぼろにするだけでなく、友人や家族を不幸にします。大麻の取引や吸引の情報があつたら、勇気を持って警察署に通報してください。

○仲間から誘われても、毅然として「ダメ。ゼッタイ。」と断りましょう。ひとりで悩まずに相談してください。

大学関係者の皆さんへ

○大学の自治は尊重しますが、学生の皆さんが大麻乱用の恐ろしさを正しく認識するように、学内管理と学生への教育をお願いします。

○学内や周辺で、大麻使用について不審なことがあれば、迷わず警察署等に相談してください。

県民の皆さんへ

○若者が一瞬の誘惑に負けて、人生を台無しにしないように、大麻の取引や吸引の情報があつたら、勇気を持って警察署に通報してください。

○県は、若者への啓発を推進し、警察においても取締りの強化をし、大麻をはじめとする薬物乱用の撲滅に取り組んでまいります。

平成20年11月13日

神奈川県知事 松沢成文
(神奈川県薬物乱用対策推進本部長)